



# ISHIKAWA

県議会だより 令和8年3月31日発行  
発行・編集 / 石川県議会(年4回発行)

第56号

## 被災地の復旧・復興 着実に前進 県政をチェックし、ふるさとの今と未来を支える

令和6年元日の能登半島地震から2年3カ月、同年9月の奥能登豪雨からは1年半が経過しました。能登の復旧・復興は、インフラ整備や生活再建支援をはじめ、さまざまな分野で着実に前へ進んでいます。県議会では、本会議や各委員会での審議を通じて、施策や予算の執行が現場の実情に即して適切に行われているかを点検し、必要な見直しや改善を求めてきました。これからも県政をしっかりチェックする機関として、ふるさとの今と未来を支えていきます。



復旧工事が進み、一般車両の通行が再開された国道249号  
奥能登の主要道路が復活した=珠洲市逢坂(ほうさか)トンネル付近



えんむすびーち in SUZU

POKÉMON with YOU  
- ポケモンはいつもあなたと一緒に -

**Q** 教員の処遇改善や働き方改革の推進を図ることを目的として教員給与と特別措置法が改正されたが、これを踏まえ、教職員の多忙化改善や教員不足解消に向けた国の責務をどのように考えているか。



**A** 教職員の定数改善、教員の給与引き上げの確実な実施やさらなる処遇改善、教員一人当たりの授業時数削減などに国の責務として真剣に取り組むべきだ。国へ現場の声を直接伝え、予算措置についてももっとかり求めている。



**盛本 芳久** もりもと よしひさ  
金沢市 6期・未来石川

- 1 楽しい学校生活と厳しい農作業の手伝い
- 2 天体観測



**Q** 地震による火災の防止策として、県はいち早く感震ブレーカーの普及に向けた補助制度を設けたが、残念ながら普及があまり進んでいないと聞いている。今後の普及対策を聞く。



**A** 設置が進まない要因は認知度不足にあると考えており、ブレーカーの仕組みや電気火災の危険性の周知に加え、家電量販店での広報の強化や、市町と連携した町内会等への打診、復興公営住宅への設置の働きかけなどにより普及を図る。



**谷内 律夫** やちりつお  
金沢市 5期・公明党

- 1 ソフトボール、中ソフトテニス、高相撲で切返球をしたことがかけがえない思い出
- 2 健康体操、カレーライス、カレーうどん、カレーそば



**Q** 思春期健診は、女性の将来の健康や不妊予防につながる重要な予防医療の取り組みである。女性が若いうちから気軽に婦人科へ受診できるよう、県が率先して予防医療の体制整備や普及に取り組むことが必要ではないか。



**A** 思春期に自分自身の健康について知り、考えることは、性別を問わず重要なことである。県としては、個別相談や普及を行う保健師などをプレコンサポーターとして育成するなど、思春期の健康相談に対応できる体制づくりを検討したい。



**八田 知子** はった ともこ  
小松市 3期・自由民主党

- 1 蚊帳の中で、従兄弟たちと人生ゲームごんまい
- 2 銭湯に行き、湯上がりのフルーツ牛乳、やめられません!



**Q** 手取川河口の美川漁港は土砂の堆積で航路が塞がり、今年は例年以上に早く漁期を切り上げざるを得なかった。航路の浚渫(土砂の撤去)を行うのは、管理者である白山市だが、県として財政面を含めた支援ができないか。



**A** 今期は土砂の早期堆積と作業台船不足で漁期短縮となった。今後は航路浚渫が円滑に進むよう、技術的な助言や情報提供などで市を支援していく。また、財政負担が増える場合は、市から相談があれば適切に対応したい。



**横山 隆也** よこやま たかや  
白山市 3期・自由民主党

- 1 当時は嫌だったけれども、父と一緒に春先山仕事をしていたこと
- 2 たまに料理をつくること



**Q** 公立中学校の部活動について、地域の事情により地域が主体となる地域クラブ活動への転換(「地域展開」)が難しい地域もある中、部活動指導員を活用した「地域連携」も選択肢の一つとして進めていく必要があるのではないか。



**A** 「地域連携」、「地域展開」に至るまでの段階における有効な取り組みを考えている。地域の実情に応じて、将来的な「地域展開」につながるよう市町を支援していきたい。



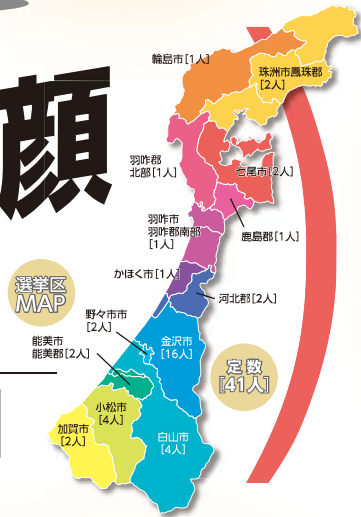
**一川 政之** いちかわ まさゆき  
小松市 3期・未来石川

- 1 小学校卒業までに4回の引越し、おかげで順応性が身についた
- 2 ポイ活(ポイント活動)



# 議員のよこ顔

石川県政を見つめ、時に鋭く問ひかける県議たち。ここでは定例会や常任委員会での質疑の一部とともに、各議員の人となり迫るQ&Aを掲載します。議場では見えない人柄を含めて、あなたのまちの「代表者」の素顔を紹介します。



質問内容

- ①子どもの頃の思い出
- ②最近のマイブーム

県議会ホームページで、本会議や予算委員会の生中継、過去の映像をご覧ください



**Q** 他県では、カスタマーハラスメント(カスハラ)防止に向けた条例を制定する動きが進んでいる。本県でも行政職員を含めた事業者に対するカスハラ防止に関する条例を制定してはどうか。



**A** まずはカスハラの実態把握のため、県内企業1,500社、労働者3,000人を対象に被害状況や企業・労働者の対応状況、行政に求める支援などを調査し、その結果や他県の条例内容を踏まえ、条例制定については前向きに検討していく。



**打出 喜代文** うちで きよひみ  
金沢市 2期・未来石川

- 1 御山まつりで石曳奉行させてもらったことが良い思い出です
- 2 息子たちのサッカーの試合を観戦することで元気をもらっています



**Q** 新たなビジネスモデルや先進的な技術を基に既存市場を革新するスタートアップを成長させ、またスタートアップを活用し県政の課題解決を行うには、公共調達を通じて初期市場を積極的に創出することが県の役割だと考えるがどうか。



**A** スタートアップの活用は県政の課題解決と企業の成長の双方に有効であり、復興に向けた地域課題を全国のスタートアップに発信するイベントを実施するなど、スタートアップ誘致による課題解決と企業成長につなげたい。



**馬場 弘勝** ばば ひろかつ  
野々市市 1期・自由民主党

- 1 科学万博つくば'85に行ったこと
- 2 整理整頓



**Q** 小松市民病院については、本館の新築などを盛り込んだ基本構想が策定され、将来の医療需要を見据えた整備の検討が進んでいる。南加賀医療圏内では、同病院を中心として市町の域を超えた病院間の連携が必要と考えるがどうか。



**A** 国の新たな地域医療構想では、2040年を見据え、高齢化や人口減少に対応するため、医療機関の役割分担と連携を更に推進するとしており、新たな県の地域医療構想でも国の方針を踏まえ、圏域内の医療機関の連携強化を検討していく。



**竹田 良平** たけだ りょうへい  
小松市 1期・自由民主党

- 1 夜ご飯前に家族と散歩して、夕陽を見たりしたこと
- 2 読書(英語に基づいた本を読むことが好きです)



**Q** 妙成寺の国宝化や未来を見据えた能登全体の文化財の保存・活用を進めるため、能登の歴史や文化等を学ぶ機会を充実と、文化財の調査研究を推進する体制の抜本的な強化を図るべきではないか。



**A** 歴史博物館や埋蔵文化財センター、自然史資料館などの専門施設に加え、県内外の大学等や関係機関と連携し、能登を含め、県下全域にわたり幅広く調査研究を行っており、こうした取り組みをさらに充実させていく。



**寶達 典久** ほうだつ のりひさ  
羽咋市 羽咋郡南部 1期・自由民主党

- 1 豊かな自然の中で、姉弟や友達と仲良く遊んだこと
- 2 古今の時刻表や路線図で 仮想旅行プランを造成すること



# 石川県議会は、これからも能登の復旧・復興を支えていきます



あばれ祭

©石川県観光連盟

県無形民俗文化財「あばれ祭」は、地震から約半年後の令和6年7月5日、6日に、能登各地のキリコ祭りの中で先陣を切って、能登町宇出津で開催されました。柱松明の周囲でキリコが勇壮に乱舞し、住民らが復興への願いを込めました。

## 被災地に寄り添い ともに歩む

能登では、震災と豪雨からの復旧が進み、地域に笑顔と元気が戻りつつあります。県議会は、これからも被災地に寄り添い、県民の皆さんとともに、復旧・復興を支えていきます。



ハコブルックスプレイグラウンド

## NOTO COMPLEX PLAY GROUND

令和7年11月1日、輪島市内に屋内型アーバンスポーツ施設「NOTO COMPLEX PLAY GROUND」がオープンしました。吉川晃司さんと布袋寅泰さんによるロックユニット「COMPLEX」などからの寄附金を活用し、能登官民連携復興センターが支援して整備された施設で、3x3バスケットボール、スケートボード、ダンスのエリアがあり、震災により遊び場が少なくなっていた子どもたちが、気軽にアーバンスポーツを楽しみ、のびのびと遊べる場になっています。



能登に笑顔と元気を！！



## のとじま水族館 再開セレモニー

「のとじま水族館」は、震災から約半年後の令和6年7月20日から一部営業を再開し、地元の人や出席者が青空に風船を放って再開を祝いました。翌年、令和7年3月22日の完全再開日には、待ち望まれていた人気のイルカショーが復活し、来館者から大きな歓声を浴びました。



## 満開の桜の下をゆくのと鉄道

地域の生活の足である「のと鉄道」は、震災翌月の令和6年2月15日、七尾-能登中島間で運転を再開。同年4月6日には、穴水まで全線が開通しました。能登さくら駅、の愛称で知られる能登鹿島駅(穴水町)では、今年も満開の桜が咲き誇る日が待たれます。同年8月1日からは、被災地の子どもたちに笑顔と元気を届けるために「のと鉄道 POKEMON with YOU トレイン」の運行も始まりました。



いしわかまる  
石若丸が  
お答えします！

## ギモン解決! 県議会ってなんなん?

分かりそうで分からない、石川県議会にまつわる素朴なギモンに、県議会マスコットキャラクター「石若丸」が Q&A 方式で答えます。

**Q1** 能登の復旧・復興のために、  
県議会はどんなことをしているの？

**A** 地震や大雨で壊れた道路や学校、家を直したり、暮らしが元に戻るように、県はたくさんの取り組みを行っているよ。県議会では、その取り組みが「本当に必要な事業か」「お金がきちんと使われているか」を話し合い、復旧・復興に使う予算や計画を決めているんだ。仮設住宅の整備や道路の復旧、医療や福祉の支援などに必要なお金がしっかり届くようにするのも県議会の役割なんだ。予算の最終決定権は議会が持っているんだよ。

**Q2** 県議会は県民の声を、どんなふうに  
防災や復興の政策に生かしているの？

**A** 議員は、被災した地域に足を運んで実際の現場を見たり、そこに住んでいる人から直接話を聞いたりして、「困っていること」や「もっと良くしてほしいこと」を集め、議会で質問したり、県の取り組みに反映するよう求めたりするんだ。県議会では、現場の声を大切にすることを何よりも大事にしているんだよ。その声をもとに、住まいの支援やなりわい再建、防災対策の強化など、復興へつなげる取り組みに生かしているんだ。

ISHIKAWA  
県議会  
だより

●お問い合わせ / 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1  
TEL 076-225-1036 FAX 076-225-1037

石川県議会ホームページ  
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/ 石川県議会 検索  
県議会に対するご意見・ご提言をお寄せください  
[E-mail アドレス] gikai@pref.ishikawa.lg.jp



石川県議会



県議会だより  
デジタル版

正副議長が  
新しく就任  
しました!



令和8年2月13日の本会議において、議長に不破大仁議員、副議長に横山隆也議員が選任されました。新体制のもと、引き続き、県政の発展に向けて円滑な議会運営を進めてまいります。